

周辺の遺跡



備前国分寺跡と備前国分尼寺跡推定地周辺(上記地図の点線範囲の上空写真)



5 上空から見た森山古墳



9 復元された岩田14号墳

1 備前国分寺跡 (国史跡)

2 備前国分尼寺跡

備前国分寺跡から県道を挟んで南にある仁王堂池付近が備前国分尼寺跡と想定されています。備前国分寺跡出土の瓦と同じ形をした軒瓦が出土しています。

3 両宮山古墳 (国史跡)

墳丘全長206mの前方後円墳で、吉備の三大巨墳の一つです。周囲には二重の濠がめぐり、古墳の総長は349mを測ります。5世紀後半に造られた吉備の大首長の墓と考えられます。

4 和田茶白山古墳 (国史跡)

両宮山古墳の後円部の北側には、陪塚とみられる和田茶白山古墳があります。墳丘全長55mの帆立貝形前方後円墳で、二重の周濠がめぐります。

5 森山古墳

墳丘全長82mの帆立貝形前方後円墳で、後円部の高さが際立ち、周囲には周濠がめぐらしていました。葺石と埴輪を伴い、両宮山古墳に続く首長墳と考えられます。

6 廻り山古墳

墳丘全長47mと推定される前方後円墳です。墳丘は畑の開墾が著しいですが、大きく開いた前方部を北に向けており、6世紀前半の築造と考えられています。

7 朱千駄古墳

墳丘全長85mを測る前方後円墳で、後円部に長持形石棺が置かれていたようです。名前の由来となった大量の朱とともに、銅鏡、玉類、金属器が出土しました。5世紀末に築造されたと考えられます。

8 小山古墳

墳丘全長54mの前方後円墳です。古墳上には阿蘇溶結凝灰岩製の古式家形石棺が破片となって所在しています。埴輪列がめぐり、5世紀末の築造と考えられます。

9 岩田14号墳

山陽団地造成の際に発掘された全長11.8mの横穴式石室を持つ後期古墳で、現在も保存されています。単竜環頭大刀や雁木玉をはじめ大量の須恵器や馬具類が出土しました。出土品は赤磐市山陽郷土資料館に展示してあります。

アクセス

車：山陽ICから北へ約1.3km
 下市交差点を西へ約2km
 バス：岡山駅から宇野バス
 山陽団地・ネオポリス・林野駅方面
 「新道・穂崎下」下車、北へ徒歩約200m

発行

赤磐市教育委員会
 ☎709-0816
 岡山県赤磐市下市337番地
 TEL 086-955-0710
 FAX 086-955-0758
<http://bunkazai.akaiwa-rekishi.jp>
 平成23年11月